平成29年度　第3回理事会議事録

開催日時：平成29年8月4日（金）14:00∼15:00

開催場所：山口県総合保健会館　第２研修室

出席者（理事）：山内秀一　三輪光良　堀　健司　小田真一郎　大平知之　河村裕介

山本公志　齋藤茂治　渡邊征二　末田修一　師井彩絵　片岡峰雄

新町浩太郎　佐野裕一　松永千晶　岡本修二　池田利充　内海英人　　丹羽英彰

出席者（監事）：伊藤　弘　大田則彦

オブザーバー（事務職員）：楠本しのぶ

欠席者　なし

以上、定款第３３条の規程により理事の過半数の出席で理事会は成立。会長　山内秀一が

議長となり、定款第３４条に基づく出席者の中より、議事録作成人として丹羽英彰理事、

議事録署名人として師井彩絵理事、末田修一理事を選出した後、次の議案を付議した。

**【議案】**

**議案１　講師料（座長の謝礼）について**

三輪副会長

　「講習会における講師等謝礼に関する規程」

第5条　前条に記載のない事項については、理事会を経て会長が決定する。

この条項にしたがって、昨年度と同様に今年度の講習会において座長へ謝礼3,000円を支払うことに関して承認していただきたい。

講師料（座長の謝礼）について採決を行いたい。

採決を行う。

賛成　19人　　反対0人　　保留0人

議案１　座長に謝礼3,000円を支払うことについて可決された。

**議案２　公益事業予算の変更について**

河村常任理事

　公益事業支出状況だが、当会の第73回総会時の学術大会は決算済みで当初予算額より21,595円減であった。

フレッシャーズセミナーも決算済みであり、当初予算額より12,042円の増となった。

　常任理事研修費を再計算したところ、当初予算額より27,800円増となったので、予算額を242,000円に補正したい。今の時点で公益事業支出合計が当初予算額より、18,247円の増となるが例年の決算額から考えれば適当な額と思われるので承認していただきたい。

公益事業予算の変更について採決を行う。

賛成　19人　　反対0人　　保留0人

議案２　常任理事研修費を242,000円に補正することについて可決された。

**議案３　山口県緊急被ばく医療の講師について**

山内会長

県から依頼されている山口県緊急被ばく医療の講師だが、現在、徳山中央病院の吉永憲正会員、山口日赤の松永千晶理事に受けていただいている。東京への研修（県からの派遣）を基に、県内での講師（上関にて）をしていただいている。今後も県からの依頼を受けたいと考えている。さらに山口大学の田辺悦章会員にも加わっていただきたく当人にお願いをしたところ了承を得たので承認していただきたい。

三輪副会長

　講師を増やした分、予算も増えるのか？

山内会長

　この研修の対象者は、放射線技師だけでは無く、他の医療従事者も含まれる。従って研修希望者数と予算の関係から、放射線技師が何人行けるかが決まる。昨年は、吉永憲正会員、松永千晶理事の２名ともに参加いただいた。また今年は、吉永会員から研修への参加希望をいただいたので、県には、その旨を伝えている。

松永理事

　研修会はコースごとに分かれていて、その都度コースを選び受講するようになっている。

山内会長

　今後も、3人から4人程度の講師を確保し、順次、講師を育てていけるような体制を整えていきたい。よって、ある程度は講師の中で統一性をもった講習をしていただくために会議を持っていただきたい。

吉永憲正会員には現在JARTの被ばく相談員も兼任していただいている。

山口県緊急被ばく医療の講師に田辺悦章会員にも加わっていただくことについて採決を行いたい。

採決を行う。

賛成　19人　反対0人　保留0人

議案３　山口県緊急被ばく医療の講師の追加について可決された。

**【報告事項】**

(1)地域再編成委員会（仮）会議報告について

　齋藤常任理事

　　地域再編成委員会（仮）会議報告について別紙のとおりとする。

　齋藤常任理事

　　今後、委員会の名称を「山口県診療放射線技師会地域再編成委員会」としたい。また新しく委員として会員数の少ない地域理事の方に入っていただきたい。

山内会長

　　新町理事、丹羽理事に入っていただく。

 (2)学術奨励賞、学術功労賞及び山口県診療放射線技師会功労賞の推薦のお願いについて

齋藤常任理事

　平成29年8月31日までの実績を元に、学術奨励賞、学術功労賞及び山口県診療放射線技師会功労賞の推薦をお願いしたい。

　特に学術奨励賞に関しては、地域ごとによく確認されて漏れないようにしてほしい。

　学術奨励賞、学術功労賞は9月15日までに報告すること。

　山口県診療放射線技師会功労賞は12月末日までに報告すること。

(3)第34回日本診療放射線技師学術大会の準備経過報告について

　山内会長

・7月27日(木)に会場の本契約を結ぶため、現在、全会場を押さえているため、別紙「会場使用計画案」に基づいて使用する会場を確認した。

　　・函館大会から「ハンズオンセミナー」が新たに追加された。内容は１コマ２時間～４時間とし、超音波・画像等手術支援・CTコロノグラフィ・骨関節撮影補助具セミナーとする。

また、７月９日の理事会で山口大会から国際シンポジウム

「Asia　Radiotherapy　Symposium」３時間枠が追加されることが決定した。

よってプログラムを再検討する必要がある。

　　・市民公開講座の内容は当初、講演３題を考えていたが、講演１題と公開シンポジウム１題に変更したい。公開シンポジウムは２時間枠で「乳がん」をテーマに下関市立市民病院の高山裕健会員に企画・運営をお願いした。

　　・函館会場のPRブースは下関コンベンション協会の方（２名）と日本旅行の方（２名）にお手伝いをいただく。

三輪副会長

　山口PRブースだが、アンケートをする予定である。アンケートに答えていただいた方に粗品をお渡しし、さらに抽選で商品があたることにする予定である。

　これらのことを利用し、山口大会をアピールしていけたらと考えている。

山内会長

　参加される実行委員の方には順番にPRブースで協力いただく。

山内会長

　講師案だが、特別講演２題・教育講演５題・公開講座２題の予定をしている。

(4)第73回総会・学術大会について

池田理事

　　別紙の通りとする。

　会場は周南地域地場産業振興センターとする。

　申込人が周南市に住所を構えるものが基本料金となるため、私が申請者となってもよろしいか。市の後援等による減免措置はない。

山内会長

池田理事にお願いする。

池田理事

　サブスクリーンは持ち込んだほうがよいか。

山内会長

　毎年、持ち込んだり、借りたりしている。

池田理事

　県民公開講座の講師は徳山動物園の飼育員の方にお願いした。職員と動物の健康についてお話していただく予定である。

(5)第38回親睦球技大会について

　佐野理事

別紙の通りとする。

１チームの人数を４人以上６人以下となっているが、７人以下としても良いか。

　山内会長

　　今回は７名以下として案内を作っていただきたい。

 (6)第34回日本診療放射線技師学術大会に関わる領収書について

　堀副会長

　　今後、第34回日本診療放射線技師学術大会に関わる領収が発生した場合、宛名を「第34回日本診療放射線技師学術大会」としていただきたい。

(7)統一講習会について

　渡邊理事

　　8月5日・6日で統一講習会を開催する。参加人数は19名で他に2名ほど入金が確認できていない方がいる。入金が確認できれば参加可能である。

（8）その他

　山内会長

JARTからの情報提供だが、60歳以上の会員の会費を減額することを検討中である。方針が決定し次第、山口県診療放射線技師会も会費の減額等について検討したい。

以上の決議を明確にするため、この議事録を作成し、定款第34条に基づき、会長及び監事並びに議事録署名人がこれに記名押印する。

　一般社団法人山口県診療放射線技師会　平成29年度　第3回理事会

　　山口県診療放射線技師会　会長　　山内秀一

議事録署名人　理事　　末田修一

理事　　師井彩絵

監事　　伊藤　弘

監事　　大田則彦